

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 石垣 洋
編集者/ 教育・広報部

申第22号「コロナウイルスに関する 第2次申し入れ」交渉を行なう!!

働く者が健康で安心して働ける職場環境を早急に構築し、お客さまが安心してご利用できる鉄道であるために議論しました。

- 現在乗務員職場で寝具（シーツ）は、毎日交換することに対して様々な努力をしているとのことであるが、新型コロナウイルスにとらわれることなく、週2～3回の交換とするのではなく、今後懸念される第2・3波の感染予防・衛生面の観点から毎日交換とすること。

会社 7月8日より横浜支社管内の乗務員区の宿泊所は、毎日交換となる。

組合 我々が求めた回答であるが、いつまでの期間を考えているか。

会社 変更があった場合は、お知らせする。

- 乗務員の寝具の交換については、寝具設置時間を労働時間Aとして5分の時間をつけること。または業務委託先に対して、毎日交換とする契約変更を行うこと。

会社 全社的なリネンの取り扱いとなることや、社員自らが出来ることとして交換する。

組合 拘束時間内であり、労働時間Aとして扱うべきである。または、業務委託するべきである。

会社 労働時間Aや業務委託をする考えはない。委託先の業務量が増え、それ以上に受けることが出来ない。

組合 支社として今すぐとは言わないが、横浜支社として取り扱って欲しい。

会社 貴側の考えは受け付けるが、乗務員勤務については本社の扱いになるので今回の取り扱いとなった。

組合 交換することは理解している。設置には睡眠時間が減っている。労働時間として扱うべきである。

会社 貴側の考えは受け止める。

※この項は組合・会社共に考えに隔たりがあり、平行線となった。

- 新型コロナウイルス対策だけとせず、衛生上の観点から、アルコール消毒液や手洗い用せっけん（液体を含む）については、通年で常設・常備すること。

組合 支社の考えとして通年で良いか。

会社 支社として予算の支援を含めて確保に努めていく。

組合 感染予防の観点から、引き続き確保をお願いする。

- マスクの着用義務がなされているなか、今後夏に向かい気温・温度が上昇していくことから、熱中症対策をすることとし、通気性の良いマスクを配布すること。

組合 熱中症対策はどのように考えているか。

会社 引き続きサージカルマスクを使用する。また7月中に、涼感マスクの試験導入を検討している。

働きやすい職場をつくるため、気付いたら声を出そう!!